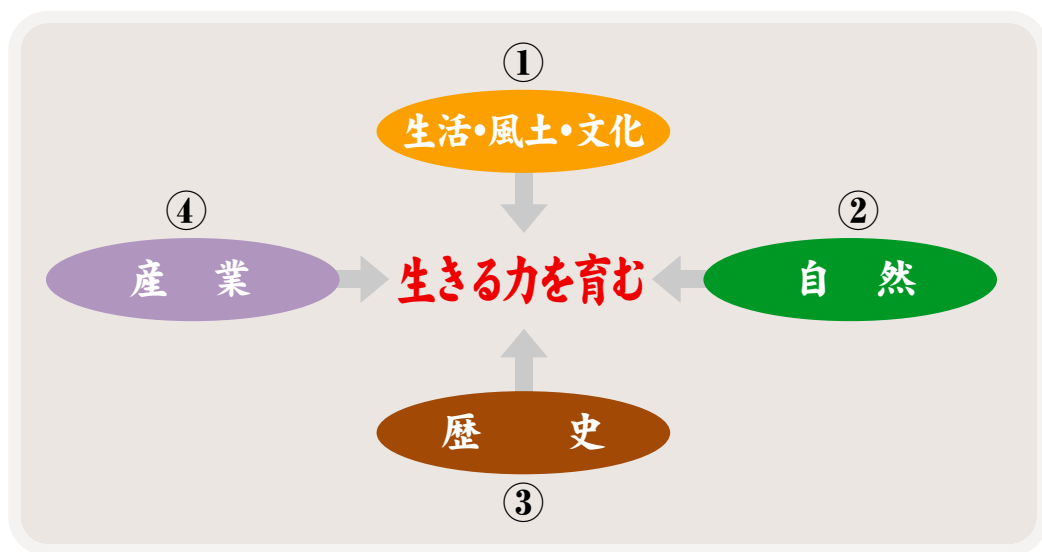


信州での総合学習

総合学習とは、私たちが住み、生活の中にこそ有るのではないのでしょうか。生活、風土、文化、歴史、産業、自然といった環境を、自分たちの地元で学び、その知識、知恵、経験を生きる糧とし、生きる力を育むものではないのでしょうか。また、この信州での校外学習が、総合学習の一環として位置づけるには地元と信州の違い、類似、つながりを色々な方面から検証し、学び、体験することにより、それらを、自らの生活の場に生かし、実践することが校外学習に求められることではないのでしょうか。そのような観点からこの「緑住空間体験、学びの資料集」を作成し、今の子供たちが学び、検証、体験する場を少しでもご提供し、これからの総合学習のタイトルにもなっている【生きる力を育む】に微力ながらお手伝いが出来ればと思っております。



学校・地元での学習

自分たちの生活の場でもある地元の総合的な環境を、分野ごとに分かれて学び、検証し、体験実践する。また、この信州に関しても、電話での聞き取り調査、文献による下調べ、新聞等からの検証を行う。また、現地に行き行って質問することなどをまとめておく。なお、必要に応じて資料提供、講師派遣等も行う。

現地での学習

各フィールドに分かれて、各専門の講師のもとにて事前に学習してきた事を検証し、また、新たな発見をしよう。さらに、地元と現地との相違、類似、つながり等も再度確認する。

事後学習・総括

地元と信州の違い、類似、つながり等を総括し、それらのものが自分たちの生活の場にどのように生かしたら良いかを考えまとめる。また、その学習を通して触れ合った人々と関りを再考してみる。